

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 箴言 1:8 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
 *賛美 …… 172番 雨をふりそそぎ
 *交読文 …… 28番
 *使徒信条 …… 会衆一同
 *頌栄 …… 173番 燃ゆるみたまよ
 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:史執事 天声:小林伝道師
 賛美 …… 305番 春風そよふごと
 メッセージ …… 父の日:祝福されたアブラハムの家庭に見倣って(ローマ 4:16-25)
 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
 賛美 …… 409番 渴(かわ)きあえぐわが魂は
 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
 献金感謝の祈り …… パスター
 報告 …… コーエン夏季講義が 7/11 からあります。詳しくはチラシをご覧ください。
 *主の祈り …… 会衆一同
 *祝祷 …… パスター

天声教会は

- 御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- 主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- 全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- 受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。「____の父と母とを敬え」。これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、「そうすれば____は幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう」。

父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。僕たる者よ。キリストに従うように、恐れおののきつつ、真心をこめて、肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとして目先だけの勤めをするのでなく、キリストの僕として心から神の御旨を行い、人にではなく主に仕えるように、快く仕えなさい。

____が知っているとおおり、だれでも良いことを行えば、僕であれ、自由人であれ、それに相当する報いを、それぞれ主から受けるであろう。主人たる者よ。僕たちに対して、同様にしなさい。おどすことを、してはならない。____が知っているとおおり、彼らと____との主は天にいますのであり、かつ人のかたより見ることをなさらないのである。最後に言う。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。(エペソ 6:1-10)

本日は父の日、日頃から一家の長として労を負っておられる父をねぎらう日である。本日は、信じる者すべての父であり、私達が模範とするべきアブラハムから、祝福された一家を建てあげていく秘訣を得たい。アブラハムといえば、キリスト教でもユダヤ教でも、またイスラム教でも有名人物であるが、私達からは遠い国・遠い時代の人物である彼が、なぜ、今の私達と関係があるのか。それはアブラハムの信仰にならう 全ての信仰者は、誰でも「世界の相続者」となる保証がなされているからだ(ローマ 4:16-17)。

アブラハムは75歳の時、神様の「行け」との御声にそのまま従い、それまで住み慣れた生き方・住み慣れた人たちの所を出て、神が示される地へと旅立った。どこへ行くかも分からないままに。そのような一大決心をして人生の舵を大きく切れた陰には、彼の信仰の決心に水を差したりせず、かえって並々ならぬ従順をもってサポートした妻サラの存在が大きい。一家の長は、父ではあるものの、信仰の家庭を築くには、信仰の舵取りを心置きなくできるような家庭運営がなされるように、互いの信仰を建てあって行く必要がある。アブラハムは、自分の体が衰え果てて、もはや子供を産む望みが無いような時、「あなたの子孫はこのようになる」と言われた約束を信じ、「自分はこれから、多くの国々の父となるのだ」というビジョンを握りしめ、行動した(4:18)。サラも、既にその年を過ぎた身であったにもかかわらず、信仰によって子を宿す力を与えられた。それは彼女は、約束してくださった方を真実な方と考えたからである。(ヘブル 11:11) 彼らは、自分たちの体が死んでも同然であるような「現実」を見ても、神の約束を疑うような事はせず、かえって、ますます信仰が強くなり、神に栄光を帰した、と書かれてある(19-20 節)。神に栄光を帰すとは、続く節にある通り、「神には、約束されたことを成就する力があることを、堅く信じる」事によって、である。事実、それで彼らは子を宿す力が与えられた。私たちも家庭運営や、会社経営をする際、現実や状況を見て、あたかも自分たちが「死んでも同然」であるかのように見えたとしても、あるいは神様の約束が、到底不可能であるかのように見えても、「神様がそう言われたから」「神には、それを成就する力がある」と、堅く信じて行動する時、神は栄光を受けられ、神はそれを義として認められる。死人をよみがえらせる方を信じる信仰が、彼の義とみなされ(21-23 節)、そして、祝福の結果を生み出す力を、神が与えて下さるのだ。

アブラハムが神の御声に従って、住み慣れた本土、親戚、父の家を離れた場面が、彼の信仰の出発点とするなら、愛するひとり子イサクを、神の言葉どおり捧げた場面は、彼の信仰の完成だった。ようやく生まれたひとり子イサクが少年に成長し、かわいい盛りの頃、神は彼を試みられ、「あなたの愛するひとり子イサクを捧げなさい」と言われたのだ。子供を自分の私物であるかのように思っている親が多い中、そのような「人間的な愛」否定し、子供は神のものである、と、100%認めるかどうかを、試されたのである。それにしても、神はイサクを通しての子孫を、海の砂のように、また空の星のように大いに増やす、と約束しておられるのに、そのイサクを、いけにえとして捧げよ、と言うのは、矛盾しているように見える。そもそも、人間をいけにえとするような、異邦宗教の習わし的な事は、神が定めた律法でも、堅く禁じている。 私たちも、信仰生活を送っていく中、御言葉と自分の理性とを並べると、矛盾に感じるような事はあるが、神は人の理性を超えたお方である。アブラハムにとって神は、「すべての人を偽り者としても、神は真実な方」(ローマ 3:4)であり、たとえ理性では受け入れられなくても、神の約束は確実に成就する、と信じた故、人には矛盾のように見える神の言葉をも、そのまま受け入れたのだ。「彼はこの神、すなわち、死人を生かし、無から有を呼び出される神を信じたのである。」(17 節) そうして見事、イサクを死者の中から取り戻し、神は彼の信仰の完成を告げられ、彼を信仰の父として確定されたのである(ヤコブ 2:21-24)。

父(夫)は、御言葉に従って家庭運営をする、という重要な責任が与えられている。信仰によって家庭を正しく導く義務があり、また、一家を祝福する祭司の役割も与えられている。しかし母の役割も大きい。たとえ父あるいは夫に信仰が無くても、母は「トラー」(モーセ五書:御言葉)である、と箴言 1:8 に書かれてある。トラーである母が、信仰の家長として役割を果たすなら、立派な子を育てて行く事ができる。テモテの家庭がそうだった。私たちは、夫婦で協力して信仰の家庭を立て上げ合い、アブラハム一家のような、素晴らしい信仰の祝福の家庭を築いて行く者たちでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第17巻25号

2022年6月19日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:30
English Service 14:00

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:00～

金曜祈祷会

19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅

6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分

JR・関内駅より徒歩10分

京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube